

特16
419

米國デフォレスト著

基督の教へし道德及び宗教

東京

金鱗堂出版

020562-000-8

特16-419

基督の教へし道德及び宗教

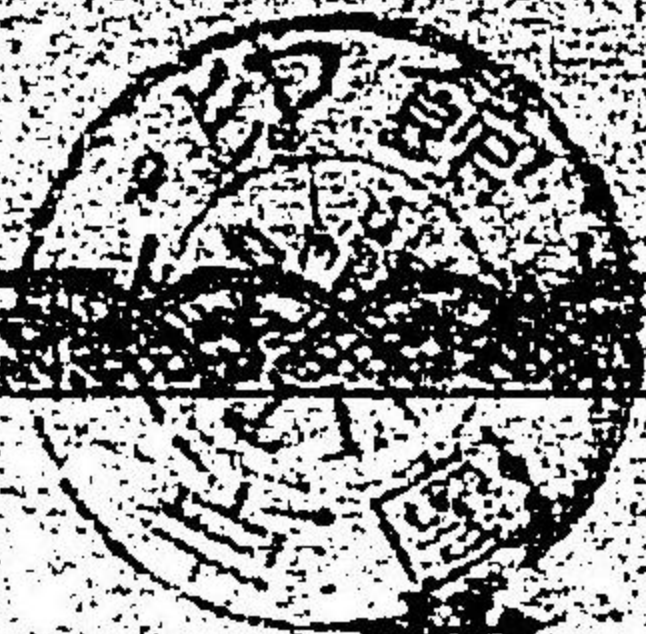
デフォレスト/著

M21

ABI-0376



No. 11630



米國デフオンスト著



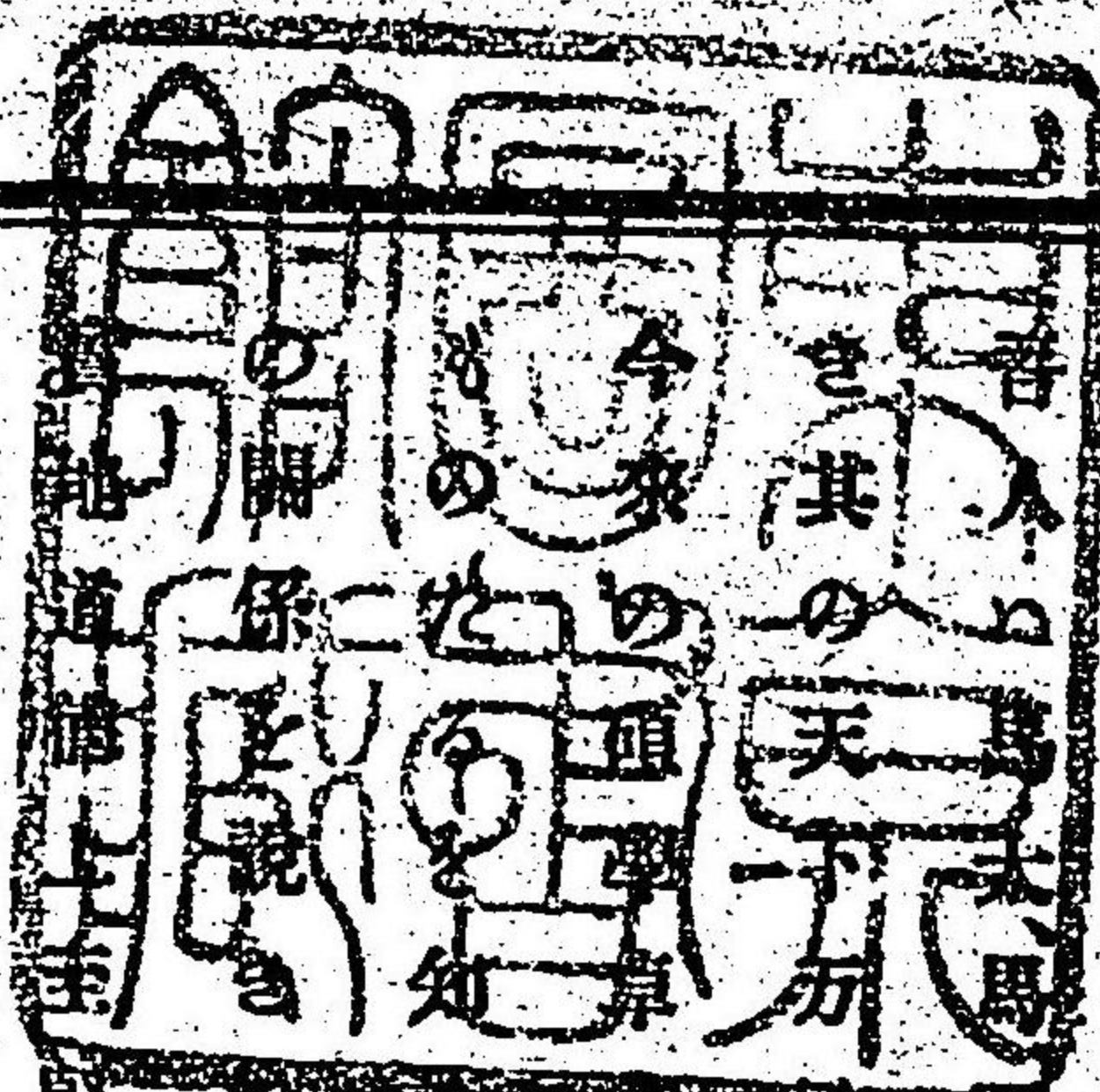
基督の教へし道德及ひ宗教



東京

金鱗堂出版

○基督の教へし道徳及び宗教



昔人の馬路加、約翰の記せしキリストの四傳記を編
き其の天下万民の稱讚嘆美する道徳上の教を見るも古往
今來の頭等卓著者か毛頭毫厘も改良増補すると能はざる
ものたるを知る今其一例を擧ぐれば曾てキリストか夫婦
の關係を説き給ひしとあて明かあり夫れ夫婦の關係たる
地、道徳上至緊至要の問題として世上万般の問題中之れ
より大なるものあるあし何とされぬ家族の和樂、團樂、社會
の平安、秩序、國家の幸福、進歩の其本を夫婦の關係より發す
れぬあり故に夫婦相互の職務の兩親の其見あ對し國民の
其政府あ對するよりも進み超越せるものありと云はざる

へからず而してイエスの斯る至大の問題を付き如何ある事を教へしや曰く神の初めに人を男女の作り給へり故に人の夫婦とあるや最早や二人のあらず一脈ありと蓋し已に一脈あれば其目的、動作、苦痛、歡樂、悉皆之を一にせざるべからずとの意あり吾人の夫婦の關係を付き世の道學者中斯る貴重の教を唱へしものあるを見ず又夫婦神聖の間を破壊する勿との教言は道徳學者中未だ曾て道破せしものありキリストの離縁を許し給ひしは當姦淫の一事あり即ち我れ汝等も告げんもし姦淫の行はれんからて其妻を出し他の婦を娶とるもの姦淫を行はざらん(馬太、十九、九)と且つ其の夫妻間の律教を説くや(馬太、十九、九)と且つ其の

淨として然して其妻を對し禍害となるべきとの念頭あり思惟すべからずと教へ給へり滔々たる世人中姦淫の眞意を知るものあり只キリストの教を聞て始て之を知り得るのみキリスト曰く凡そ婦を見て色情を起す者の中心すてお姦淫したるあり(馬太、五、二八)とキリストは以上の如き教へを立て實に婦人の伴侶とされり而して婦人の位置を高尙せらしむるの點に至りて古今の碩學卓識の輩を惣合するもキリストの功績に企て及ぶべからざるあり彼のキリスト教國に於て蓄生を擯斥し之を蛇蝎視するは抑も誰の力ぞや娼妓てお名は口之を擧るも猶且以て耻ちとせるの抑も誰の力ぞや是れ皆キリスト教の純然たる結果あり

あらずやポロロか夫の其婦を愛すると自ら其跡の如くせよと云ひし何れ由りてか斯る思想を養成せしむ必ずキリスト教より根柢し來りしものあらずや千八百年来の歴史を回顧する時はキリスト教の結果の愈々瞭々然たり照々乎たるを見る之を奉すれり其人清く之を守れり其家貴し隨て奉すれり隨て清く隨て守れば隨て貴し即ち換言せば家族の清潔淨白あるは人のキリスト教を奉するの深不深お依る者也是より由てこれを觀れり世の開明文化の駿々乎として上達するのキリスト教の賜ありと謂はざる可からず且つ夫れキリスト教の人と爲り及び其の教を學べんと欲せば宜敷四福音書を就て學ぶべしと雖も茲も

又古今人類の尤も注意を喚起したる一事を論せん這は是れ他事ならず即ちキリスト教中の愛敵の教是あり試み未だ行てキリスト教を奉せずキリスト教の道德を聞かざる國々の歴史を緋て之を見よ歴史中如何ある事を記載すもや素より其の紙上よ於て人目を驚愕せしむる事尠あからざる可し譬へはパピロンの大厦、高樓、盤々焉として連接し蹄穀絡繹、軋々の聲曉々達する等別成の氣象異様の風光一見其の繁華を羨慕すへき富榮の都府を見るあらん又三角塔の如き雲上お兀立せる高大ある石碑を見るあらん或は希臘お於ては建築の宏壯、技術の精巧を見るあらん然れども其の歴史の大半は慄慄、決死、刻薄殘忍ある復讐主義の奇

談を以て充滿せるふあらずや而して其あは巧に人を屠り安りふ人を殺し小邦を并せ弱國を呑を以て尤も贊稱せるふ非すや加之キリスト教國の歴史に於けるも猶且つ鮮血淋漓として紙面を赤染する如き慘狀も亦無さふあらざれども之をキリスト降誕の以前に比すれば其増減多少實に雲壤皆あらず是れ則ちキリスト教の勢力漸々増進してその感化を蒙る者多々益々殖へたるふ由るものあり是の故にキリスト教の感化は戦争上に非常なる制裁を與へたるものありと謂はざるへからず孰れキリスト教の感化を受けざる國民の戦争を見るに勝者の恣に其敵を殺戮し無辜の民を奴と爲し負傷者を苦役するを以て常とす

るともキリスト教國の輿論は全く之に反して假令ひ敵の捕虜たりとも安りふ之を屠るを許さざるあり彼の赤十字社の今や垂々羽翼を張り漸次戦争の災害を輕減鎮止するを力めり是則ちキリスト教の力ふあらずや又曩昔合衆國と英國との間ふ於て葛藤を生し將に戦雲を起し争雨を降さんとするふ當り一丸を飛さす一兵を傷す談判上遂に平和の局を結びたるの歴史に特に大書すべきの一大美事にして米國の政治家クラント將軍の傳記中ふ書し世の喝采を博したるふあらずや又彼のクラント氏は嘗て支那日本に向て懇々忠告し暗憐たる妖雲を亞細亞の東天に浮ばしむる勿れと云ひしふ非すや其れ斯の如く社會上に一大變

化を來せし者の蓋し其原因種々あるへしと雖も就中キ
リスト教興て力ありと云はざるへからず。斯の爾の隣
を愛して其敵を慈むべしと言ふとあるの事。しか聞し所
り然も我あんぢらよ告ん爾曹の敵を愛み爾曹を誣ふ者を
祝し爾曹を憎む者を善祝し虐遇迫害者の爲ふ所禱せよ(馬
太五、四三―四四)とのキリストの教へお職由せずんら
ざるあり夫れ基督の道德上の教へ付き各國各民の之れに
同意し之に服従する者二あり曰く(一)己人あせられんとす
るとの亦人にも其の如く施せよ(路加、六、三一)との金律(二)隣
人てあ辭ふ付き世人中未た其眞意を知れる者あくキリス
ト教あかりし以前の留隣りお居住して意氣投合したる者

を指稱して隣人ありと名けしおイエスの一層其意を擴張
し遠隔の人をも近接の人をも貧寒困窮の人をも盡く之を
稱して眞の隣人ありとあし四海皆お兄弟ありとあし給ひ
たると之れあも嗚呼イエスの如き年若き人に去て又ナザ
レの如き寒村僻陬に育ちたるの人あして古往今來の碩學
卓識の輩か一言半句も増減する能はざる教律を立て給ひ
しお空前絶後の大事業と云ふへきあり
次お思考すへき問題の宗教あり夫れキリストの教へは宗
教を論する時の世人往々之を反對を試みんとする傾向を
顯す者あり而して其言ふ所に據れお曰く吾人のキリスト
の教へし道德の之を重し之を貴めり故おイエスその人の

東洋の孔孟釋迦よりも泰西のソクラテス、プラト、アリスト
テレスよりも遙かに超絶せることを許せり而して道德ある
者の何れの世も何れの代にも必ず之を慕へき者ありし
て吾人日常の業務上欠くべからざる者なり然れども宗教
に至りては不必要ありと謂はざるべからず何と云へば之
れ只無學文盲の愚民を教導する爲めの方便過ぎされり
世人の智識上進し世の開明文化の程度高尚に趣くみ従ひ
其必要の浸漸として萎靡縮減し終るに全く其跡を世に絶
お至れりありと以上の如き所見を懐抱せる人ありして
只一言の應答も足れりとする即ちキリストの道德を教へ
給ふや未だ曾て宗教より離れしと云ふ其の世も遠せし道

徳上の教の悉く宗教の基き寸毫も宗教と分離すべからざ
るあり夫れキリストは人間の職務を二大部に分ち給へり
曰く人間相互に對する務曰く神に對する務是あり而して
其の神に對するの務を以て第一に置き給へり是より由て之
を觀れば人の神に對するの職務の至大至要なるを昭々乎
たり故に宗教の第一にして道德の之れも次くものありと
謂はざるべからずキリスト曰く爾心を盡し精神を盡し意
を盡し主なる爾の神を愛すべし之れ第一にして大なる誠
あり第二も亦これに同じ己の如く爾の隣を愛すべし(馬太
二二、三七、三九)と之れ則ちキリストの宗教道德を教へ給
ひし順序あり夫れ其の順序斯の如し試み眼孔を睽して世

界の歴史を見よ時の古今を問はず國の東西を問はず世人の苟くも宗教を放擲するか又は其順序を轉倒して道德を第一とし宗教を第二とせし時あつて如何なる結果を顯し來りしや何時も支離滅裂、慘恒たる形狀を現出せざるのみし世に一種の論者ありその言ふ曰く道德は人の心意を高尙せしむるも宗教は人の心意を狹隘し小縮せしむるものあり道德は人の心を高大し之を廣潤せしむるも宗教は人の理性を反對するものありと固より宗教にして人の理性を矛盾撞着する者の顯者の信奉すべきものにあらざるあり故に若しキリストの教へし宗教にして或人の理性を予盾し人の心意を狹隘せしめたらんのみ

顯者の之れを排斥嫌惡し一日も早く世間より之を驅逐するも若かざるあり然れども其の教理の如何んを考察吟味せずして徒に嫌惡するの愚の至りと言はざるを得ず今夫れキリストの言辭を潜心熟慮する時は其教へし宗教も付き二箇の要點あるを見出すべし(第一)萬物の主宰たる獨一無二の生ける神あるとみてキリストの明か之を教へ賜へり彼のソクラーテスは天地に唯一の神あるべしと思惟せしむるその存在に付て確乎たる明言はあざざりし然るもキリストの教を聽て之を尊信するもの貴とあき賤とあき大とあき小とあき賢愚を問はず貧富を論せず皆全能唯一の神あるを確信せりそれ此の神を確信するは人の理性を予盾

撞着するや曰く西諸學科殊も天文、地質、化學の如きの獨一
全能の神の存在に付て精明雄健ある證據を吾人ふ與ふる
みならずや又古今の歴史の吾人ふ示すも一大主宰の上
在るありて常も歴史の方針を指導し其の大目的を完成せ
しむるを現はすもみならずや且つ近世の進化論に至りて
の一層の勢力を有神論も與へたるものあり夫れ學術の油
然として歩を進むるも世界も於て最古の書籍ある創世記
第一章第一節に記せる初も神天地を創造せりと云ふ高尚
ある辭章も反對するを見ざるあり今それ斯の如き宗教の
教義を確信するも於て吾人の其人心を狹隘にし人の理性
も矛盾する痕跡たも之を見出さざるあり且つイエスの此

の全能全知の神の吾人の天父たることを教へ給へり嗚呼古
今の英傑卓識者か吾人ふ授けし敬愛喜慕すべき許多の教
訓中未だ斯る喜びすべきの教あるを見ざるあり實も宇宙
の大主宰ある神は吾人の父ありてふこの直も信する能は
ざる程喜はしき事ならずや看よ心を潜めて吾人の境遇果
して如何あるものあるやを看よ吾人の此の世界も生息す
るや肝腎の生計も汲々とし、來世も付て苦慮思焦し、人間相
互の間も猜疑を狭み、互も惡み、互も嫌ひ、或は肉欲も追ひ、
私欲も眩まされ、下賤卑劣の目的を懷き、又他人よりの虚譽
を求め、金銀を得るを以て無上の幸福と思惟し、而して常も
鬱々平和を知らず、心底憤懣不平を充たし、漂々として、東も

流れ泛々として西へ浮ひ終始世間を狼狽奔て止まず
而して短き價值なき此世を去れり其の后は如何あり行
くべきか又如何ありして吾人は至賤極卑の目的を脱却して
真正の男子とあり女子とあり得るやを顧慮焦思して措か
ざるあり嗚呼如何にして斯る慘怛たる人類の境涯を和樂
平安の腴地と爲すを得るや

茲に答わり即ち全能全知の神の吾人々類の天父ありして其
の純粹ある慈愛を以て人類を愛護し吾人々類を以て愛兒
と呼び吾人々類の神の象ふ像とりて造られたる永遠不朽の
靈魂を有するとの眞理を信せしめしむる之れあり今や放僻邪侈
讒佞欺負の徒をして全人類の神の吾人の父ありして吾人の神

の見たるの大眞理を信せしめしむる彼等の必ずや其心を以て
曾て形骸の奴隷とあしたるを悔ひ忽ち善誠信實の人たら
んことを欲するあるへし又悲歎し失望し沮喪し落魄し自ら
世を生活するを欲せず又死地に付くをも恐るゝの輩をし
てイエスの此の言を信せしめしむる彼等の忽ち天父の全能を
感し必ず勃興奮起して種々の障害あるも係らず真正の
男子と爲るを力むるあらん夫れ斯の如し故にキリストの
教を目して福音と謂ふに實に至當の稱ならずや
以上開陳する如くあるかやへ世界万民の兄弟たるに決し
て疑ふへからざるの事實あり或は歐羅巴に生き或は亞細
亞に産し或は阿非利加に育ちて各自出生の土地を異ふす

るも其の同胞兄弟たるの眞理に於ては異同なきを以て
して吾人の生息する此の地球の彈丸黒子の一渺として
吾人々類の惣て全能唯一の天父の兒あれば互に嫌惡し、互
を猜疑し、干戈を動かし、彈藥を用ひ、財寶を劫掠し、土地を横
奪し、同胞を殺戮し、擾々焉として戰闘すべきの理なきなり
惣ての國民の其狹隘ある思想を抛擲して自國の爲め自身
の爲めを計畫し勉勵、努力せると同時に亦世界全体の幸福
の爲めを計畫、努力すべきあり近世に至り彼の萬國公法を
設定せしむ蓋し是の意より起りしものあり國の内外を問
はず惣ての國民をして吾人々類の盡く全能唯一の神の
象を像られて造出されたる者たるの大眞理を悟信せしむ

るも至らば人類は其交際を潤大にし萬國を一脈一体とあ
し衆民擧て兄弟の交誼を結ひ團結を誓ひ、互に扶助し、互に
救護し、互に敬愛し、互に尊重し、限りなき進歩を目當とし、窮
りなき開達を目的とし、相勵み、相勇み、以て學理の蘊奥を極
め、以て開化の高點を達することを希ふあらん
嗚呼神を吾人の天父とし人類を吾人の兄弟とし之を信し
之を奉ずるの宗教として人の理性を矛盾するものと爲し
或は無必要あるものと云ふは荒誕妄論據り所なきものと
云はざるを得ざるあり

(第二)キリストの明かす教え給へし宗教の問題中吾人の注
目すべきは則ち天國のとあり國とい何ぞや曰く一種不可

斯の世を厭倦し、斯の世を嫌惡し、斯の世を斷念し、自殺せしもの尠しとせず、是れ則ちキリスト降誕前に於ける世の現狀おして晩近お至るも猶其跡を絶たざるおあらずや、嗚呼如何よしてか此の如き害惡の源を塞き此の如き醜狀の本を杜ち世の情弱、奸邪の人類をして希望、歡樂、勇氣の滿ちたる人類とあすを得へきや如何おして肉欲の奴隸とされる者をして其の卑賤ある心術を抛ちて純潔、正直、信誠ある人とあさしむへきや、古今の道德者及哲學者は孰れも孳々汲々として斯の慘怛たる世人の境涯を優々閑雅の境涯よ變更せん事を勉めり而して其の結果たる固より些少にあらざるあり、然れども全世界を變して清淨、潔白の樂地と爲すの大

事業お至りては一も其の成功を奏せしものおし今異常猛烈ある勢力ありて世人の心理を感化し之れお賦與するよ純粹ある希望と高尚ある目的を以てするお非るより此の卑賤の目的を懷ける人類をして其無學罪惡の境涯より救出するを得ざるあり是れ即ちイエスか吾人お教誨し給ひしとありキリストは曾て其の第一の説教に於て清き光榮ある天國は將に斯の下界に來らんとすと謂ひ給へり夫れ全能全知の天父の其總て之を信奉し之を感受する者の心裏に於て義と信と愛の王國を立てん爲めお無學文盲の小兒等か集合せる斯の濁世お來り給へり彼の其の小兒等お對し新鮮ある希望を賦與し永遠の生命を與る約束を以

て吾人の下界に來りて吾人を救助せんとせり彼は濁世に
天國を建設し而して吾人の如何にして其の王國に入り得
るやを教え給へり滔々たる世人の天國との唯之を來世の
事ありと思惟すれども決して然らず天國の則ち現世にあ
り而して其の國の己に地球上各所に建設せられ各民中に
創立せられたり故に吾人の今大王の清明ある律法に従ひ
此の世界に生存する間必ず此の王國に入りさるへからず
斯の如くみして吾人の此の肉體の死去する前既に永遠
の生命を得るあり斯の是れイエスが三年間の働き中常
人々に向つて教へ給ひし大問題あり即ち馬太傳五六、七章
の其の教を以て充實せり且つ聖書を記録せるキリストの

教へ給ひし三十の譬喩の過半天國に付ての教ありキリスト
の曾て其の門徒を布教の爲め派遣するに當り天國の近接
せり故にその清淨、純潔ある律法に従ふときい何人たりと
も其の國に入るを得へしと教よと命令し給へり、此の時よ
り爾來今日に至る迄無數のキリスト信徒の世人に教ゆる
に當り此の信言、誠語を以て世界各國の民をして之を服膺
せしむるに至れり而して天國の己に人類のキリスト教を
信奉し之れに服従する處に既に建設せられしあり彼の
惡逆暴慢の野人をして其の惡心暴事を放擲し義を愛し誠
を好むの人と化せしむるに斯の天國の教より勢力權威
あるものあり

以上のキリストの世人に教へ給ひし宗教の二大要點あり
即ち神の万民の父たると又義の天國の世界萬國を建設せ
らるゝと之れあり想ふ此の二大點を服膺翫味する者の
穆々たるキリストの深智を驚愕し其の聖名を稱揚嘆美せ
ざるを得ざるへし

明治廿一年八月九日印刷
同 八月十日出版

(定價金七錢)

原發行者
兼編輯人

小崎弘道

麴町區下二番町
三拾壹番地

翻刻者兼
發行者

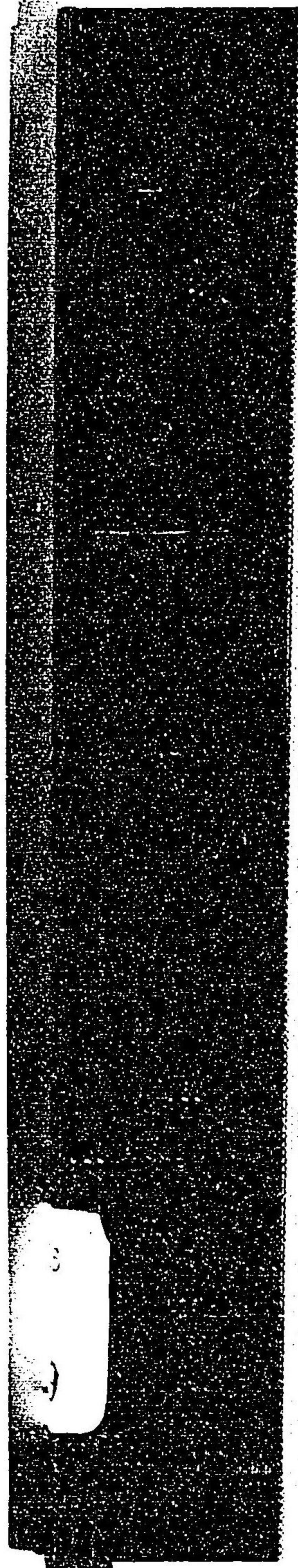
伊東武彦

東京芝區櫻田
本郷町三番地

印刷者

川崎忠雄

同京橋區築地
二丁目三拾六番地



3
)